

# 中尾常務、「院内感染対策Q&A」を解説

## 医療安全・院内感染対策講演会

医療安全・院内感染対策講演会が8月7日（土）、熊本県歯科医師会館で熊本県歯会員、歯科医療関係従事者など、多くの参加者の下に開催され、中尾薫日歯常務理事が、日歯が日本歯科医学会の協力を得て作成した「一般歯科診療ガイドラインによる院内感染対策Q&A」を詳説した。

「感染症の脅威」と題して講演を行った中尾日歯常務理事は、「Q&A」を全国に先駆けて熊本県で解説した。「Q&A」は、改めて院内感染対策への注意喚起を図るため、平成19年に日本歯科医学会が作成した歯科診療ガイドライン「エビデンスに基づいた一般歯科診療における院内感染対策」等を基に作成したもので、全14問で構成。▽歯科診療における院内感染対策▽歯科診療中の曝露事故予防への対応▽歯科診療中の曝露事故後の対応などを簡潔に取りまとめている。

中尾常務理事はその他、昨年流行した新型インフルエンザへの日歯の取り組みや、感染症対策の基本的な事項、B型・C型肝炎の基礎知識とその対策等を説明

また、講演会では、熊本県歯会の医療対策委員会が、県歯で作成した「医療安全管理対策書」の使用方法を詳しく解説。「対策書」は、医療安全管理視診を始め、マニュアルや各種報告書書式を例示し、使いやす

さを追及している。平成19年度より作成を開始し、改訂を繰り返した後、平成22年3月、医療対策委員会によって最終版が完成した。

なお、「Q&A」は、日歯ホームページ・メンバーズルームに掲載している。